

[卒業後の状況調査]

1 中学校卒業生

- (1) 平成19年3月の中学校卒業生数は54,625人(男子 28,045人, 女子 26,580人)で, 前年より572人(1.1%)増加している。
- ① 「高等学校等進学者」は53,337人(男子 27,315人, 女子 26,022人)で, 前年より499人(0.9%)増加している。
- ② 「専修学校(高等課程)進学者」は118人(男子 58人, 女子 60人)で, 前年より27人(29.7%)増加している。
- ③ 「専修学校(一般課程)等入学者」は73人(男子 32人, 女子 41人)となっている。
- ④ 「公共職業能力開発施設等入学者」は48人(男子 46人, 女子 2人)となっている。
- ⑤ 「就職者(進学者は含まない)」は324人(男子 242人, 女子 82人)で, 前年より4人(1.2%)減少している。
- ⑥ 「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」は725人(男子 352人, 女子 373人)で, 前年より53人(7.9%)増加している。

図9 中学校卒業生数及び進学率の推移

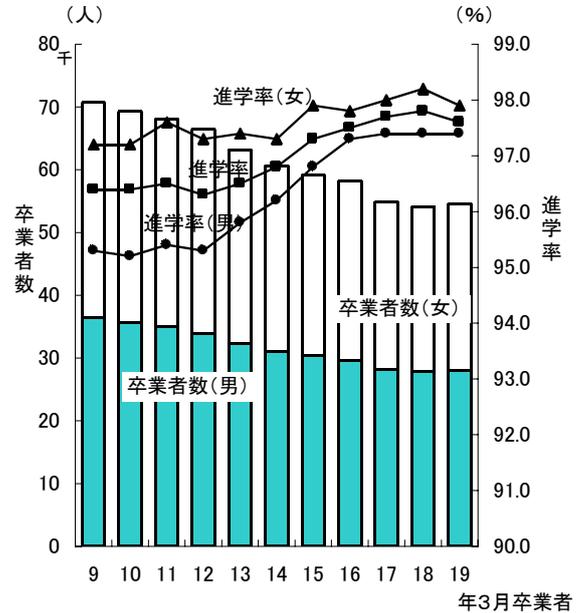


表10 中学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	高等学校等		専修学校 (高等課程) 進学者 A	専修学校 (一般課程) 等入学者 B	公共職業 能力開発 施設等入 学者 C	就職者 D	左記以 外の者	死亡・ 不詳の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	高等学校等		就職率 (%)
		進学者	うち通信制 課程を除く								進学率 (%)	通信制課 程を除く	
平成9年	70,680	68,164	67,984	602	443	...	726	737	8	44	96.4	96.2	1.1
10年	69,283	66,815	66,644	575	416	...	619	852	6	47	96.4	96.2	1.0
11年	68,133	65,738	65,482	495	251	117	581	944	7	46	96.5	96.1	0.9
12年	66,383	63,926	63,668	521	259	98	577	996	6	28	96.3	95.9	0.9
13年	63,198	61,017	60,635	335	172	118	531	1,017	8	44	96.5	95.9	0.9
14年	60,647	58,681	58,345	303	179	119	475	888	2	15	96.8	96.2	0.8
15年	59,176	57,599	57,302	176	124	103	364	806	4	30	97.3	96.8	0.7
16年	58,215	56,776	56,401	149	89	62	361	777	1	14	97.5	96.9	0.6
17年	54,863	53,604	53,235	108	80	48	319	698	6	21	97.7	97.0	0.6
18年	54,053	52,838	52,485	91	74	50	328	669	3	17	97.8	97.1	0.6
19年	54,625	53,337	52,944	118	73	48	324	720	5	18	97.6	96.9	0.6

(2) 高等学校等進学者数のうち, 高等学校の通信制課程(本科)へ進学した者を除いた進学者数は52,944人で前年より459人増加し, 男子は27,149人で前年より267人, 女子は25,795人で前年より192人それぞれ増加している。

高等学校等進学率(全卒業生数のうち高等学校等進学者の占める割合)は97.6%となっている。このうち高等学校の通信制課程(本科)へ進学した者を除いた進学率は96.9%で, 前年より0.2ポイント減少している。男子は96.8%で前年と同率であり, 女子は97.0%で前年より0.4ポイント減少している。

男女別の進学率は, 昭和42年以降女子の進学率が男子のそれを上回っている。

(3) 就職者総数(「就職者」に「高等学校等進学者」・「専修学校(高等課程)進学者」・「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数)は342人(男子 253人, 女子 89人)で, 前年より3人減少している。

- ① 就職率(全卒業生数のうち就職者総数の占める比率)は0.6%で, 前年と同率である。
- ② 就職者総数を産業部門別にみると, 最も多いのが第2次産業の157人(就職者総数の45.9%)で, 次いで第3次産業の156人(同 45.6%)となっている。
- ③ 就職者総数のうち県外(出身中学校が所在する県以外の県)へ就職した者は34人で, 就職者総数の9.9%を占め, 前年より0.8ポイント低下している。

2 高等学校(全日制課程・定時制課程)卒業生

(1) 平成19年3月の高等学校卒業生は49,561人(男子 25,074人, 女子 24,487人)で, 前年より719人(1.4%)減少している。卒業生の進路別内訳は, 「大学等進学者」25,386人, 「専修学校(専門課程)進学者」9,028人, 「専修学校(一般課程)等入学者」4,418人, 「公共職業能力開発施設等入学者」175人, 「就職者」6,996人, 「一時的な仕事に就いた者」1,112人, 「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」2,446人となっている。

(2) 大学等進学者数は25,386人で, うち男子は13,076人, 女子は12,310人で, 前年より1,173人(4.8%)増加している。
進学率(全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率)は51.2%で, うち男子は52.1%, 女子は50.3%となっている。

このうち, 大学・短期大学の通信教育部に進学した者を除いた進学率は51.2%で, 前年より3.1ポイント上昇している。

男女別の進学率は, 昭和48年以降女子の進学率が男子のそれを上回っていたが, 本年は昨年に引き続き男子の進学率が女子のそれを上回っている。

図10 高等学校卒業生数, 進学率及び就職率の推移

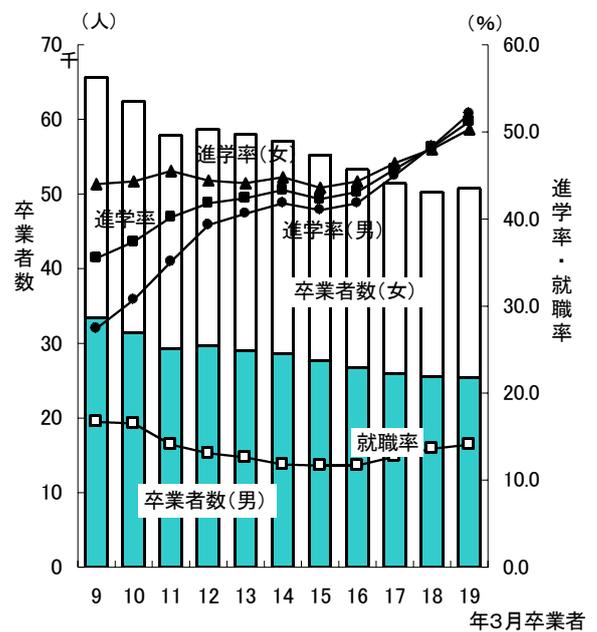


表11 高等学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	大学等		専修学校 (専門課程) 進学者B	専修学校 (一般課程) 等入学者C	公共職業 能力開発 施設等入 学者D	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以 外の者	死亡・ 不詳の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	大学等 進学率 (%)	通信教育 部を除く	就職率 (%)
		進学者	うち通信教 育部を除く A											
平成9年	65,669	23,335	23,256	13,163	12,217	...	10,868	...	5,904	182	98	35.5	35.4	16.7
10年	62,503	23,390	23,350	11,932	11,258	...	10,281	...	5,538	104	60	37.4	37.4	16.5
11年	57,865	23,274	23,240	10,711	8,554	201	8,144	...	6,801	120	39	40.2	40.2	14.1
12年	58,633	24,524	24,495	11,388	7,759	216	7,604	...	6,922	220	76	41.8	41.8	13.1
13年	58,013	24,575	24,550	11,297	7,610	217	7,251	...	6,770	293	56	42.4	42.3	12.6
14年	57,134	24,738	24,722	11,140	7,437	199	6,668	...	6,947	5	56	43.3	43.3	11.8
15年	55,225	23,354	23,311	11,087	7,586	242	6,420	...	6,536	-	58	42.3	42.2	11.7
16年	53,304	22,950	22,919	11,040	7,183	148	6,213	2,083	3,686	1	32	43.1	43	11.7
17年	51,418	23,480	23,448	10,451	5,995	169	6,522	1,735	3,056	10	23	45.7	45.6	12.7
18年	50,280	24,213	24,186	10,065	4,902	178	6,822	1,498	2,600	2	14	48.2	48.1	13.6
19年	49,561	25,386	25,362	9,028	4,418	175	6,996	1,112	2,445	1	11	51.2	51.2	14.1

- (3) 専修学校(専門課程)進学者は9,028人(男子 3,454人, 女子 5,574人)で, 進学率は18.2%となり前年より1.8ポイント低下している。
- (4) 就職者総数(「就職者」に「大学等進学者」・「専修学校(専門課程)進学者」・「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数)は7,007人で, 前年より171人(2.5%)増加している。
- ① 就職率は14.1%で, 前年より0.5ポイント上昇している。
 - ② 就職者総数を産業別にみると, 製造業が2,244人(就職者総数の32.0%)で最も多く, 次いで卸売・小売業1,179人(同16.8%), サービス業が777人(同11.1%)等となっている。
 - ③ 就職者総数を職業別にみると, 生産工程・労務作業者が2,627人(就職者総数の37.4%)と最も多く, 次いでサービス職業従事者1,145人(同16.3%), 販売従事者が1,082人(同15.4%), 事務従事者984人(同14.0%)等となっている。
 - ④ 就職者総数のうち, 県外(出身高等学校が所在する県以外の県)へ就職した者は1,628人(前年1,555人)で就職者総数の23.2%であり, 前年より0.5ポイント上昇している。

図11 高等学校卒業者の男女別にみた主な産業別就職者数の比率

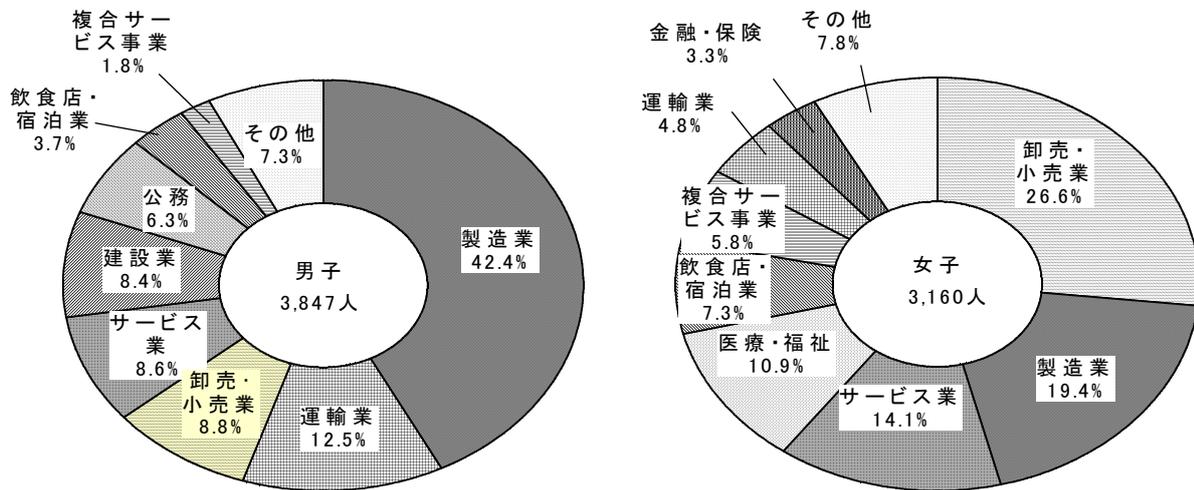
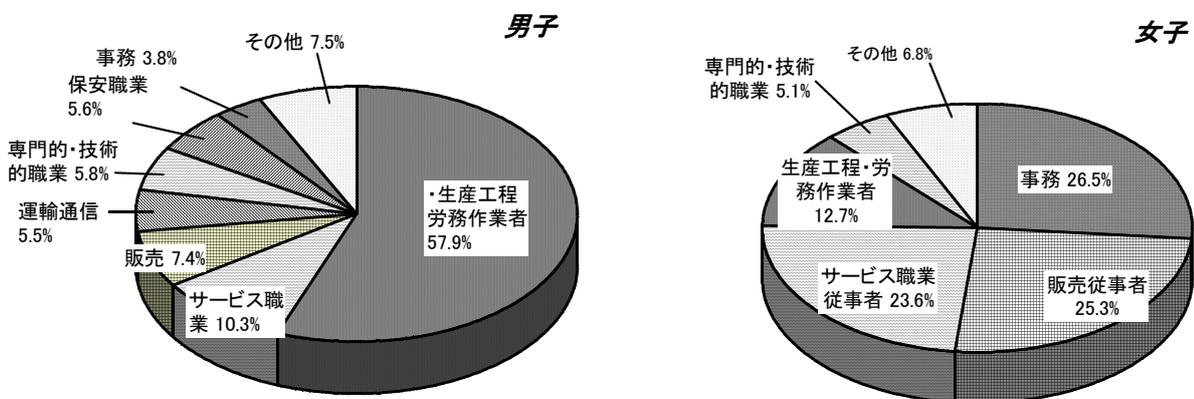


図12 高等学校卒業者の男女別にみた主な職業別就職者数の比率



3 高等学校(通信制課程)卒業生

- (1) 平成18年度間の高等学校(通信制課程)の卒業生数は1,195人(男子598人,女子597人)で,前年度間より67人減少している。

卒業生の進路別内訳は,「大学等進学者」215人(卒業生に占める比率18.0%),「専修学校(専門課程)進学者」243人(同20.3%),「専修学校(一般課程)等入学者」38人(同3.2%),「公共職業能力開発施設等入学者」5人(同0.4%),「就職者」135人(同11.3%),「左記以外の者及び死亡・不詳の者」559人(同46.8%)となっている。

4 盲学校・聾学校・養護学校(中学部・高等部)卒業生

- (1) 平成19年3月の盲・聾・養護学校の各中学部の卒業生数は,盲学校7人,聾学校24人,養護学校319人で,前年と比べ盲学校は4人減,聾学校は1人増加,養護学校は12人増加している。

卒業生のうち高等学校等進学者数は,盲学校7人(卒業生に占める割合100.0%),聾学校24人(同100.0%),養護学校319人(同100.0%)で,その大部分は各学校の高等部へ進学している。

- (2) 平成19年3月の盲・聾・養護学校の各高等部の卒業生数は,盲学校7人,聾学校37人,養護学校616人で,前年と比べ,盲学校は1人減少,聾学校は15人減少,養護学校は68人増加している。
- ① 卒業生のうち大学等進学者数は,盲学校2人(卒業生に占める割合28.5%),聾学校28人(同75.7%),養護学校3人(同0.5%)となっている。
- ② 卒業生のうち就職者数は,盲学校2人(卒業生に占める割合28.5%),聾学校7人(同18.9%),養護学校178人(同28.9%)となっている。

[不 就 学 学 齡 児 童 生 徒 調 査]

- 1 就学免除者
就学免除者数は学齡児童(6歳~11歳)1人, 学齡生徒(12歳~14歳)0人となっている。
- 2 就学猶予者
就学猶予者数は学齡児童18人, 学齡生徒2人となっている。
- 3 1年以上居所不明者
1年以上居所不明者数は学齡児童5人, 学齡生徒0人となっている。
- 4 学齡児童生徒死亡者
平成18年度間に死亡した学齡児童は13人, 学齡生徒は6人となっている。

[学 校 施 設 調 査]

- 1 学校土地面積
私立学校の土地面積は5,489,092㎡(設置者所有4,718,529㎡, 借用770,563㎡)で, 前年度より60,065㎡減少している。
公立の専修学校の土地面積は126,830㎡(設置者所有122,732㎡, 借用4,098㎡)で, 前年度より6,038㎡増加している。
- 2 学校建物面積
私立学校の建物面積は1,783,777㎡(設置者所有1,770,844㎡, 借用12,933㎡)で, 前年度より6,320㎡減少している。
公立の専修学校の建物面積は56,545㎡(設置者所有56,545㎡, 借用0㎡)で, 前年度より4,500㎡増加している。

注) 調査対象は私立の各学校(小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 幼稚園, 専修学校, 各種学校)及び公立の専修学校である。